

++++  
「植物と人々の博物館メルマガ」 創刊号 2015年6月1日発行  
++++

必要に応じて、会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。  
植物と人々の博物館は山梨県小菅村で行っているNPO自然文化誌研究会のボランティアな  
公民館活動プロジェクトです。ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や  
伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とても  
うれしいです。

植物と人々の博物館は、エコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館で  
す。自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀  
栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて展示、整理、解説しています。  
雑穀栽培講習会、日本村塾3ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナー  
なども開催しています。  
雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と  
反対方向に創ることを提案しています。

#### 活動報告：

##### 1. 雑穀街道の提案

つぶつぶ栽培者ネット オープン会議 「時と場をつなぐ雑穀街道」、2月28日に、「さあ山  
村」雑穀街道を三度、提案しました。

- ・ローカル・シードバンク、雑穀街道で雑穀のむら連合 milletrust をつなぐ。
- ・ホームガーデンで雑穀・野菜栽培を維持し、郷土食を伝承し、また、新しい料理を商品開  
発する。
- ・相模川・多摩川流域近隣市町村の中山間地との連携、自給農耕、地域経済をつくる。
- ・学びを通じた職場づくり日本村塾をする。Nihonmura College for Environmental Studies
- ・伝統知を学び合うことで、トランジションの暮らしを勧める。Study for Continuous  
Improvement/Sobibo

##### 2. 小菅村源流祭に合わせて公開展示解説を5月4日にしました。

日本村塾第1回扶桑こくゼミは河原宏著『素朴への回帰—国から「くに」へ』  
の読書会を8名でしました。

##### 3. 雑穀栽培講習会を5月9日にしました。

- 1) 丹波山村の岡部さん、上野原市の中川さんに雑穀の種まき法を習いました。

キビとアワそれぞれ2品種をまきました。

2) 自給農耕ゼミ第1回、津野幸人『「国民皆農」で生活革命と食糧自給の実現』、木俣美樹男『ホームガーデンによる生物文化多様性保全と家族食料安全保障』を参考資料に、9名で開催しました。

3) 第2回は7月梅雨明け頃に、オオムギの精白を上野原市西原の水車で、中川さんから学ぶ予定です。

担当にはトランジション藤野／お百姓クラブの末村さんがなっただけです。

4) 道の駅小菅駐車場わきの雑穀栽培見本園にはキビとアワ、センニンコクのほかに、中川さんから分譲いただいて、モロコシ、ヒエ、ハトムギ、シコクビエも植える予定です。

#### 4. 見本園の様子

オオムギは穂が色づいてきました。麦秋を見ていただけます。6月2週の梅雨入り前には刈り取り、

畑で天日乾燥します。栽培講習会で播種したアワやキビは発芽して育ち始めました。

#### 5. 現在の日常活動（原則として月曜日か金曜日）

1. 雑穀栽培見本園の管理

2. 民具展示の整理

3. 雑穀標本の整理

4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

5. 民族植物学ノオトの発行、現在第8号、第9号編集中

\*\*\*\*\*

館長：木下善晴（小菅村在住）

自然文化誌研究会（東京都）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージアム研究会（小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

研究員塾生：木俣美樹男、西村俊、藤盛礼恵ほか

連絡先：木俣美樹男 kimatami@u-gakugei.ac.jp

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

\*\*\*\*\*